勾配屋根用ダクト接続ボックス＆接続アタッチメント

施工要領書

取付工事を始めるの前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けて下さい。
取付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施して下さい。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告	取扱いを誤ったときに、作業者が死亡または重傷を負う危険があることを示します。
⚠ 注意	取扱いを誤ったときに、作業者が軽傷を負うか、物的損害のみの発生が想定されることを示します。

⚠ 警　告

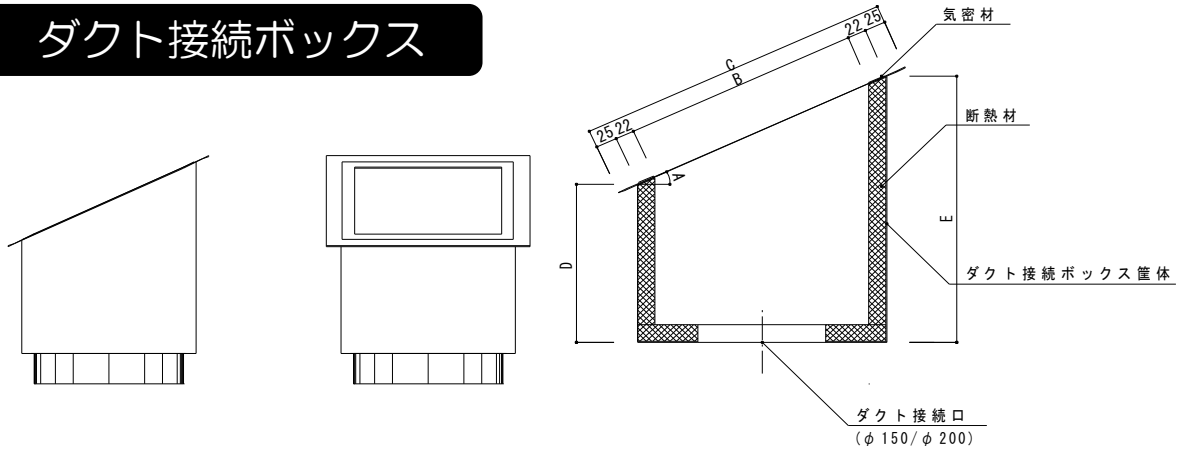
●天候不良時には、絶対に施工しないで下さい。

天候不良時に作業すると突風で煽られたり、濡れた屋根面から滑落したりして大変危険です。

●安全対策を徹底して下さい。

施工時にはヘルメット、手袋、安全帯を着用し、安定した足場を確保して、安全第一で作業して下さい。

ダクト接続ボックス



【材質】

筐　体：ガルバリウム鋼板

断熱材：イソシアヌレートフォーム

気密材：EPDM発泡体

接続ダクト：GW丸ダクトφ200

GW丸ダクトφ150

タイプ	各部寸法							屋根開口寸法	
屋根勾配	A°	Bmm	Cmm	Dmm		Emm		間口方向	流れ方向
				ｼｮｰﾄ	ﾛﾝｸﾞ	ｼｮｰﾄ	ﾛﾝｸﾞ		
3寸勾配用	16.7	261	355	220	350	307	437	300	310
3.5寸勾配用	19.3	266	360	220	350	322	452	300	315
4寸勾配用	21.8	271	365	220	350	337	467	300	320
4.5寸勾配用	24.2	276	370	220	350	350	480	300	325
5寸勾配用	26.5	281	377	220	350	366	496	300	330
垂直貫通用	0	251	342	220	350	220	350	300	300

※発注時にφ150/φ200を選択して下さい。

接続アタッチメント

接続アタッチメントは、集熱面の納まりによって使用の有無が変わります。
ダクトの接続方法に応じて検討して下さい。

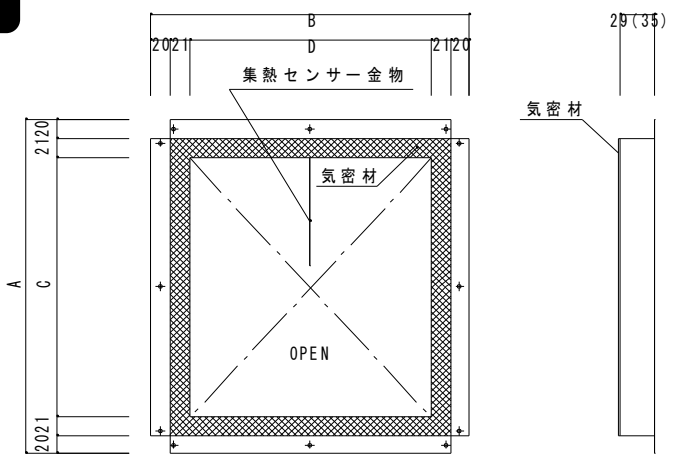
【材質】

筐　体：ガルバリウム鋼板

断熱材：イソシアヌレートフォーム

気密材：EPDM発泡体

※通気垂木の高さに応じてH=29mmとH=35mmの2種類を用意しています。



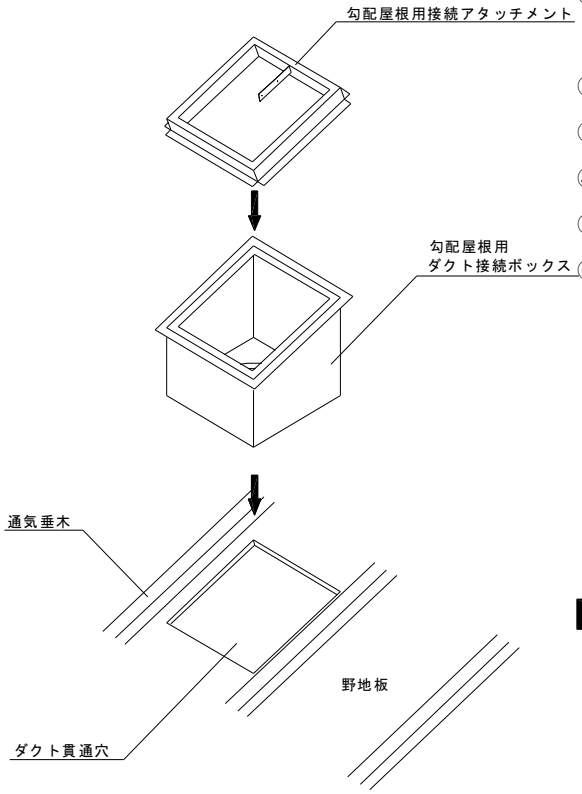
上面　　側面

注　意
接続アタッチメントの使用の有無に関係なく、ダクト接続部の気密性能の確保に配慮して下さい。漏気があると冷たい外気が流入し集熱温度が上がらなくなります。

タイプ	各部寸法			
屋根勾配	Amm	Bmm	Cmm	Dmm
3寸勾配用	355	342	273	260
3.5寸勾配用	360	342	278	260
4寸勾配用	365	342	283	260
4.5寸勾配用	370	342	288	260
5寸勾配用	377	342	295	260
垂直貫通用	342	342	260	260

施工

① 予備集熱面ありの場合



【施工手順】

① 野地板にダクト貫通穴を屋根開口寸法に従って開ける。

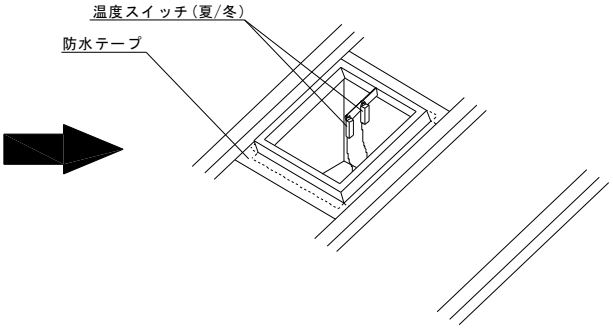
② 勾配屋根用ダクト接続ボックスを貫通穴に挿入する。

③ 勾配屋根用接続アタッチメントを取付ける。

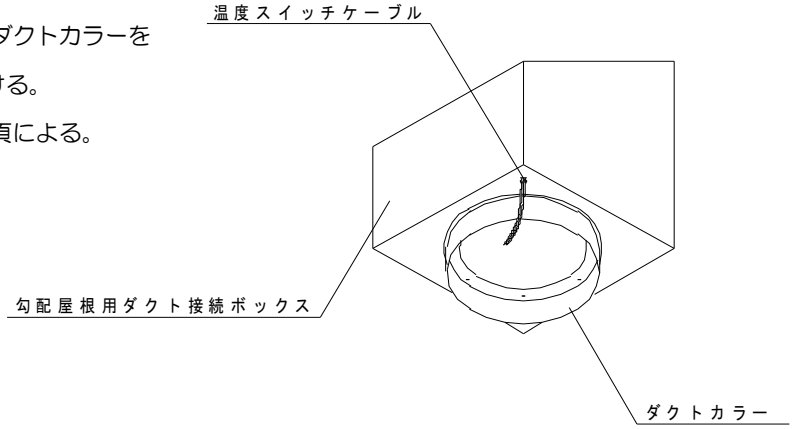
④ ②と③を野地板に釘止めする。

⑤ 防水テープでしっかり止水する。

⑥ 集熱センサー金物に温度スイッチ（夏/冬）を耐熱インシュロックにて取付ける。
温度スイッチケーブルは、ダクト接続ボックス底面の通線口から外に出す。

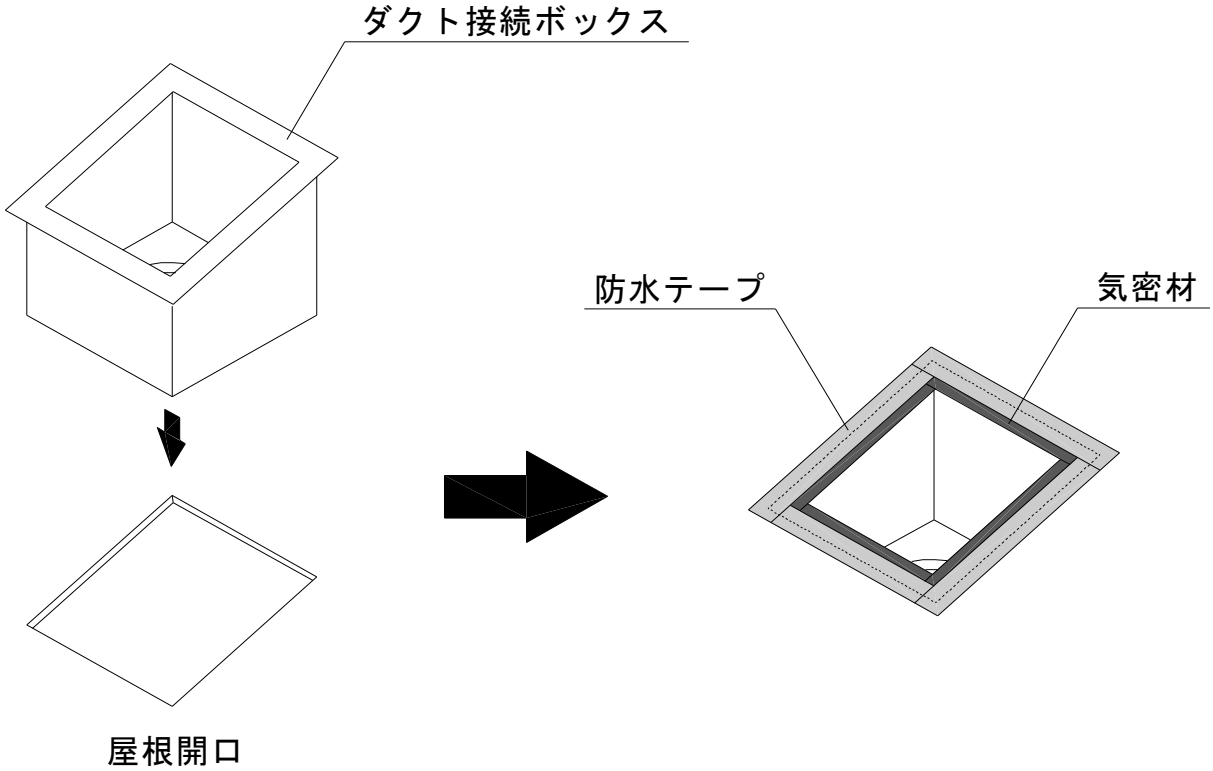


⑦　勾配屋根用ダクト接続ボックス下面にダクトカラーを
M4x12トルネードポイントにて取付ける。
ただし電動ダンパーを組込む場合は次頁による。



② 屋根通気層利用の場合

屋根通気層を利用して集熱パネルに集熱空気を導入する場合は、接続アタッチメントは使用しません。集熱パネルとの接続にあたっては、ダクト接続ボックス上面に気密材を貼り、集熱パネルで圧縮されることにより気密・水密性能を確保します。



【施工手順】

①　野地板にダクト貫通穴を屋根開口寸法に従って開ける。

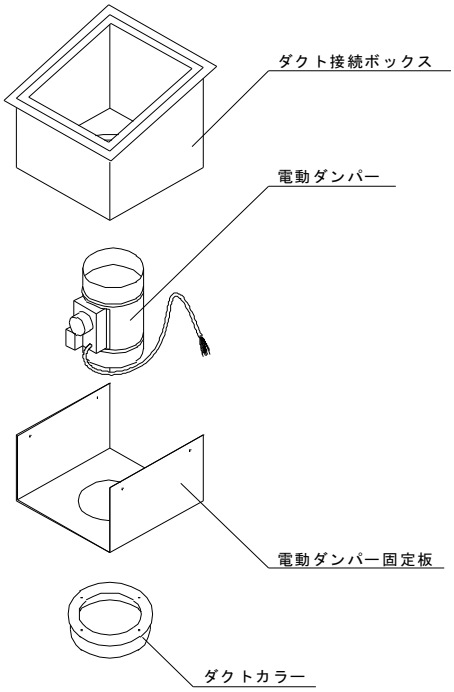
②　勾配屋根用ダクト接続ボックスを貫通穴に挿入する。

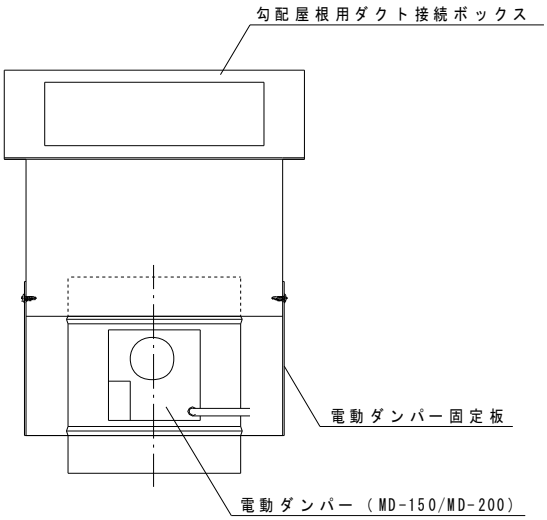
③　防水テープで四周をシールする。

④　ダクト接続ボックスの開口に気密材を貼る。

電動ダンパー取付

ダクト接続ボックスには、下図の要領で電動ダンパー（MD-150/200）を取付けることができます。





【施工手順】

① ダクト接続ボックス底面の丸穴に電動ダンパーを挿入する。

② 電動ダンパー下から固定板を挿入し、ダクト接続ボックス側面にM4ドリルビス(4本)で固定する。

③ 電動ダンパーはモーター面をメンテナンスしやすい方向に向けて固定する。

④ GWダクトを使用する場合は、固定板下面にダクトカラーを取付けてダクトを挿入し、固定する。(M4x12ﾄﾙﾈｰﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ)
断熱フレキダクト等を使用する場合は、電動ダンパー下部から挿入し、ダクトバンドにて固定する。
（ダクトカラーは使用しない）

⑤ 電動ダンパーの電気配線を行う。
(ｿｰﾗｰﾌｧﾝﾎﾞｯｸｽ施工要領書参照)

企画・設計　手の物語 有限会社

〒432-8044　静岡県浜松市中区南浅田2丁目2-1
TEL：053-570-9012　　FAX：053-570-9017

2017/7/26